（様式１）

平成２４年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

（整理番号） ００４	**提案機関名**	神奈川県環境農政局水・緑部森林再生課

要望問題名

スギ・ヒノキ穿孔性害虫等の被害状況調査について

要望問題の内容　【　背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等）　】

本県の県内森林資源量の約２割を占める森林には、県西部を中心に穿孔性害虫（ｽｷﾞﾉｱｶﾈﾄﾗｶﾐｷﾘ）による被害が発生している。被害材は建築用材としての利用が敬遠されるために間伐材などの木材生産活動が停滞している。これまでも、虫害等被害材の活用促進を図る取組を進め、虫被害林の早期間伐と適正な枝打ち施業の実施をしてきた。また今年度からは間伐材の搬出・運搬に対して補助を行っている間伐材搬出促進事業の実施時に間伐対象森林の被害状況や森林整備状況の調査を林業事業体の協力を得て行う予定としている。これらのことより資源の有効利用を促進しているところであるが、被害林そのものに対するより一層の対策が県西部市町から求められている。

そのためには、現在、調査研究が進んでいる市町村レベルでの被害状況調査結果を、間伐材搬出促進事業で実施する林分毎の被害状況の調査結果と整理統合して現状を把握し、被害蔓延防止対策を講じるための分析を要望するとともに、被害林の樹種転換等さらに一歩踏み込んだ対策の検討への助言を要望したい。

解決希望年限	①　１年以内　　②２～３年以内　　③４～５年以内　　④５～１０年以内
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター　②畜産技術所　③水産技術センター ④自然環境保全センター
備　考	

※　ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	自然環境保全センター	**担当部所**	研究連携課

対応区分	①実施　②実施中　③継続検討　④実施済　⑤調査指導対応　⑥現地対応　⑦実施不可

試験研究課題名　（①、②、④の場合）

対応の内容等

本県で発生しているスギ・ヒノキの穿孔性害虫被害は重要な問題と認識しており、当センターでも被害材の野外暴露試験、実大強度試験等による土木資材への利用技術開発に取り組んでいるところです。また、ご要望にある被害の現況調査と継続的な被害地対策についても課題化を検討しているところです。しかし、実際に研究課題として実施するためには現行の体制では難しく、専属の特別研究員を採用するなど体制を整える必要があります。したがって、今後とも森林再生課と協議しながら、総合的な被害対策の課題化に向け、体制面を含め継続的に検討したいと思います。

解決予定年限	①１年以内　②２～３年以内　③４～５年以内　④５～１０年以内
備　考	